

7-2. 預貯金・貸出金残高

大阪における預貯金・貸出金の状況をみますと、資金需要の低迷や金融機関の慎重な貸出姿勢を反映して、貸出金残高は縮小傾向をたどっています。一方、預貯金残高は平成14年は前年比微増となりましたが、15年は減少に転じました。

(単位：億円)

年	預貯金残高				貸出金残高			
	大阪府		全国		大阪府		全国	
		対前年比 (%)		対前年比 (%)		対前年比 (%)		対前年比 (%)
平成8	747,762	0.5	9,036,161	1.8	792,482	-3.5	7,422,520	1.1
9	759,016	1.5	9,160,227	1.4	773,475	-2.4	7,446,138	0.3
10	771,125	1.6	9,389,095	2.5	660,393	-14.6	6,124,137	-17.8
11	791,314	2.6	9,684,406	3.1	644,640	-2.4	6,045,157	-1.3
12	797,844	0.8	9,867,365	1.9	630,382	-2.2	5,935,872	-1.8
13	793,006	-0.6	9,839,264	-0.3	617,396	-2.1	5,811,359	-2.1
14	830,110	4.7	10,105,129	2.7	579,751	-6.1	5,587,343	-3.9
15	817,738	-1.5	9,972,283	-1.3	535,301	-7.7	5,341,457	-4.4

(日本銀行調査統計局「都道府県別経済統計」「金融経済統計月報」)

- (注) 1. 各年3月末現在
 2. 集計金融機関の範囲は、国内銀行（銀行勘定のみの計数。外銀信託を除くベース。）、信用金庫、商工中金、信用組合、労働金庫、信農連、農業協同組合、信漁連、漁業協同組合（以上民間金融機関）及び郵便局（郵便局の貯金の数値は1年遅れで発表される）

